

今日は6年の子供たちが、緑の森で、
草花を摘み、アホ-鳥

先人の美德を 次の世代へ



え・古屋智子

五月のテーマ

伝える

私

たち倫理法人会は、純粋理
理の実践・普及により、自

己の幸福を求めるのみならず、広
く社会に貢献することを目的とし
ています。倫理や道徳といった、
健全な社会を下支えする「人とし
ての筋道」を世に訴え、喚起して
いくことも大事な活動の一つです。
倫理や道徳は、私たちが一人で
はなく他者との共同生活を営む上
で、大切にすべき規範です。その
形成の過程には、周囲から賞賛さ
れたり、感心されるような先人た
ちの行為が何かしらあったことが
想像されます。

つまり、倫理や道徳は、太古の
昔から人類に備わっていたのでは
なく、先人たちの貴重な経験知や
経験則が蓄積されたものであり、
さらに時間という検証を経た叡知
の集大成として、今日の誰もが大
切だと考える倫理や道徳として認
知されるに至ったのでしよう。

日常生活の中で道徳的な行為を
見聞きしたり、美德と称されるエ
ピソードに触れると、心が温かく
なったり、ホッとさせられたりし

ます。自ら苦しみの渦中にありな
がらも、自分より他者を助けよう
とするような行為を耳にすると、
私たちが聞く側の心も洗われるよう
な気持ちになるものです。

*

Ｔ子さんは、小学校のPTA活
動として行なわれている「読み聞
かせ」の当番として、小学校六年
になる娘の学校を訪れました。

何を読めばよいか考えた末、島
田洋七さんの『佐賀のばいばあ
ちゃん』を選びました。戦後の貧
しさの中にも明るく豪快だった祖
母の人情溢れるエピソードがちり
ばめられ、生活の知恵に満ちた本
です。Ｔ子さんは、子供たちに親
祖先からの愛情を再確認してもら
うと共に、個々が持つ無限の可能
性を開花させ、有意義な人生を歩
んでほしいと十五分間の熱弁を振
るったのでした。

帰宅した娘に感想を聞いてみる
と、いつもは立ち歩いて、読み聞
かせに集中できないクラスメート
も熱心に聞いていたとのこと。ま
ずまずの反応を聞き、ホッとした

そうです。

昨今のテレビでは、会社で部下
に対して理不尽な要求のかぎりを
尽くす嫌味な上司や、公共の場で
他人の迷惑を省みない人物を、
様々な手法で懲らしめ、視聴者を
スカツとした気持ちにさせる番組
が人気を呼んでいるようです。

昔から、「赤穂浪士」などの時代
劇や子供たちが夢中で見るヒーロ
ー戦隊ものも、物語の下地は「勸
善懲悪」でした。いつの時代も「善
が大手を振ってまかり通る世の中
を人々は望んでいるのではないで
しょうか。

こうした先人たちから受け継が
れた良き伝統である「美德」を次
世代へしっかりと伝えることは、大
きな社会貢献といえるでしょう。

それにはまず、身近な家庭や職
場において、一人ひとりが身をも
つて、子供たちや周囲の人へ希望
を与え、良き影響を及ぼす行ない
を心がけたいものです。冒頭に記
した倫理法人会の使命を発揮する
ことが、地域社会からもますます
求められるでしょう。